**ヨハネによる福音書　17章**

文責：古橋　大佑

【自身のための祈り】1-5

今まで弟子たちに向かって最後の説教をしていたイエスは、次に目を天に向けて話し始めた。

**Ｑ1.3節「永遠の命とは、～イエスキリストを知ることです。」とありますが、**

**結局「永遠の命」とはなんなのか？**

**神の国で永遠に生きられることなのか？「知ること」それ自体なのか？それとも…？**

**♀：永遠の命って？**

**φ：愛を知ること、死んだときに魂も消えちゃったら永遠の命ってわけじゃないような。**

**ｈ：「知ること」でその本質に近づける？**

**宮：心穏やかな感じが神の国で生きてるという感じ。誰かの愛が自分に向いてると実感できるということ。**

**♀：みやざきさんとちかい！**

**永井さん：死ぬのが怖くなくなること。自分の無力さを感じて思い通りにならなくともそれを恐れない。**

**φ：この世、物質世界をぬけだして一段階上のステージへ行く(神の世界へ行く)感じ。**

**F:ちょっとまたあとで**

**う：永遠の命を持ちながら生きていると実感できる！たとえばじっとしてて心が平安になってたり感謝の気持ちが沸き起こったりするときとか、親の愛情を通して神の愛に気づいたりとか。**

**F:イエスキリストを知ること、ってどういうこと？**

**♀：認めると言い換えてもいいような。イエスが救世主と認めること。**

**＠：死んだらどこ行くの？と考えたときに、それは生まれる前に行くんじゃないか、と結論づけた(こどものころに。)**

**塁：結論なんて出ない…今を楽しんだがいいのかなー　そのとき考えればいいのに**

**♀：どう生きるか、という考え方も宗教に含まれてるんじゃね？**

**水口先生：祈りの言葉の中で永遠の命が話題になっている…このいみはもちろん生と死のテーマにもつながるんだけど、死んでからだけじゃない。現実の世界の中でも永遠の命という概念はある。聖書が「知る」という時は、「わたし」と「あなた」が一体化することをさしている。神＝永遠で人間＝有限。永遠の命とはすなわち神の命ということ。3章16節を参照しよう。いろんな方の臨終に立ち会うと「死がすべての終わりではない」とじっかんする。死に向き合う機会を持つということはとっても重要なことですよ。**

・【弟子たち、彼らのための祈り】6-26

そして祈りは、イエス自身のためのものから弟子たちのためのものへ移る。

**Ｑ2.繰り返しイエスの祈りの中で出てくる「彼ら」とは？**

F：弟子。

塁：弟子。

め：弟子。

ｈ：神を信じてる者。

＠：＋イエスをしたってるひと。

永井さん：なんでここで弟子だけのために祈っているのか…なんでだっけ…神の祈りも弟子へのメッセージ、と4年前やったかも。

水口先生：弟子たちと世との関係とは？

φ：世って言うと世間一般て感じ。その中から選び出されたのが弟子たち。

永井さん：イエスを信じテルっぽい人たちがいてもホントに信じてる人が全員かといわれると疑問…本心から信じてる人が弟子というか。

♀：弟子たちも私と同じように遣わされてきたんだよ、と強調しているような。

水口先生：この世のものでない、ということは？

ｈ：信じてるから信じてない人とは区別されてるよ、みたいな。

塁：別の異質なもの、って感じでにくまれると15章に書いてあった。

φ：弟子たちも神の国からきた、って説明できるかも！うまれるまえからイエスの弟子になると予定されていたとか！

水口先生：この世の価値観を土台としているんじゃない、ということ。キリストが弟子たちに求めたのは世にどっぷりつかること。弟子たちが救われるのは弟子たちのためだけでない。

**Ｑ3.なぜ「彼ら」だけが救われるのか。**

**・神を信じている者　∋　キリストを信じているものではない。**

**なぜ神を信じる方法が違うだけで救われるか否かが決まるのか。**

**・神の存在を知らない者もいる。**

**神の存在を知ったとしても、彼が神を信じるかどうかは環境によるものが大きいだろう。**

**その環境の差を作ったのは？**

**・愛の神であるならば全てを救うのが自然ではないか？**

**仮に、全ての人が神を信じ永遠の命を得る世界を作ることも不可能ではなかったのに**

**人が「神を信じるか信じないか」を選ぶ機会を作ったというのなら、**

**その機会を作ったものの責任として、選択がどうあれ救うのが愛ではないのか？**

**・そもそも、なぜ神は「神の存在を信じ、敬う者」だけを救うのか。**

**それは神の視点ではそこまで評価されるべきことなのか？**

**塁：みんな助けてくれりゃいいのに、とは思いますわー　毎回ある程度の結論が出ているような気がするんですが。。。覚えてないです**

**φ：こういう違いを生んだ方が面白い(ゲームっぽい)神はどうして違いが出るのかそのシステムを知りたくなったのかな？**

**F：みんながみんな信じる世界だったらキリスト教という概念そのものがないですよね。**

**ｈ：信じてる人は救われるし、聖書読んでない人は救われるかどうかさえ知る由もないし、…みんな救われるんじゃね？**

**＠：イエスのいた時代の日本人とかは全然知らないですよね。もともとはみんな救われるようになってて、自発的に信じない、という人のみが救われないのでは。なんか不必要な物作って遊ばれてる感じ**

**永井さん：今年は運が良かった1年でした。でも運がいいっていうだけではなくて、絶対うまくいく、と信じることがうまくいくこつなのでは。**

**う：信じないから救わない、とか罰を与える、とかではなくて、受ける人側が信じないことではねつけちゃってるのでは。イエスは皆を救いたいと思ってるはず。**

**水口先生：「彼ら」という言葉でほかの人を排除しているわけではない。根本的に神と人間は違う、という風に考えよう。救いの手は皆に差し伸べるが、それを人間側がどう応答するか。愛というのはやさしいものだけではなくて、厳しいところもある。**

**ＳＱ.あなたは神、あるいは世界をどのようなものと認識しているか。**